

# 平成27年度 地域医療体験研修(夏期) 報告集

研修日 平成27年8月31日(月)～9月2日(水)



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.

福島県会津保健福祉事務所  
福島県南会津保健福祉事務所



# 目 次

1	実施要項	1
2	スケジュール	2
3	昭和村 からむし織りの織姫（地域住民）との懇談会	3
4	福島県立宮下病院視察 等	4
5	医療従事者との懇談会	5
6	只見町国民健康保険朝日診療所 視察 等	6
7	只見町保健福祉センター・只見町介護老人保健施設「こぶし苑」 概要説明・施設見学	7
8	学生によるディスカッション	8
9	会津中央病院 視察 等	9
10	課題研究のまとめ・発表	10

# 1 実施要項

## 1 研修の目的

地域医療に関心を持つ医学生を対象に、地域医療の現状視察や地域住民との交流などの場を提供し、過疎・中山間地域における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらうことを目的とする。

## 2 開催日

平成27年8月31日（月）～9月2日（水）〔2泊3日〕

## 3 対象者

地域医療に関心を持つ医学部学生（学年不問）

## 4 参加者

15名

## 5 研修内容

### （1）地域医療現場の視察

会津・南会津地域の診療現場及び社会福祉施設を視察する。

〈視察予定先〉：福島県立宮下病院、只見町国民健康保険朝日診療所、只見町介護老人保健施設「こぶし苑」、只見町保健福祉センター、会津中央病院

### （2）地域住民・地域医療に従事する医療従事者との懇談会

地域住民からは地域住民が医療に期待すること、上記医療機関の医師等からは地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行う。

### （3）会津地域の歴史・文化に触れる

### （4）課題研究及び発表

あらかじめ提示する課題について研究する。また、地域医療体験研修を通して、学んだこと、考えたことをまとめ、発表する。

## 6 宿泊場所

季の郷 湯ら里（只見町）、瀨流の宿 かわち（柳津町）

## 2 スケジュール

月日	行 程	場 所
8月31日 (月)	からむし織りの織姫との懇談会	昭和村 からむし織の里 織姫交流館
	福島県立宮下病院視察 等	三島町 福島県立宮下病院
	医療従事者との意見交換	只見町 季の郷 湯ら里
9月1日 (火)	只見町国民健康保険朝日診療所視察 等	只見町 国民健康保険朝日診療所
	只見町保健福祉センター・ 只見町介護老人保健施設「こぶし苑」 概要説明・施設見学	只見町 只見町保健福祉センター 只見町介護老人保健施設「こぶし苑」
	学生によるディスカッション	柳津町 澗流の宿 かわち
9月2日 (水)	会津中央病院 視察 等	会津若松市 会津中央病院
	課題研究の発表・まとめ	//





### 3 からむし織りの織姫との懇談会

【 日 時 】 8月31日(月) 11:30~13:00

【 場 所 】 昭和村 からむし織の里 織姫交流館

【 目 的 】 昭和村の伝統工芸である「からむし織り」の文化に触れるとともに、地域住民(からむし織りの織姫)との懇談を通じて地域の実情について理解を深める。

【 内 容 】

- 1、昭和村の概要説明・「からむし織り」についてのビデオ上映  
(昭和村 保健福祉課 五十嵐係長より)



- 2、会食しながらの懇談



○地域で生活することの良さや大変さなどについてお話しいただきました。

#### 参加者の声(事後アンケートより)

- ・昭和村の伝統と、それを守る方々を知ることができた。
- ・県外から村に移り住んだ方々より、医療関係を含めて話を聞くことができたのは良い経験だった。
- ・実際に、からむし織りを織る作業も体験してみたいと思った。

## 4 福島県立宮下病院視察 等

【 日 時 】 8月31日(月) 14:00~16:30

【 場 所 】 三島町 福島県立宮下病院

【 目 的 】 ① 病院の概要説明及び施設見学を通して、へき地医療拠点病院の持つ役割について知識を深める。  
② 地域医療に従事する医師から、地域医療に対する考え方や体験談などを聞き、意見交換を行い、地域医療への理解を深める。

【 内 容 】

1、宮下病院の概要説明(宮下病院 滝本事務長より)

2、医師との意見交換

〈座長〉：福島県立医科大学 医療人育成・支援センター 大谷 晃司 先生



○宮下病院の浅野院長をはじめとする先生方と意見交換を行い、地域医療に従事する医師の立場からのご意見などを伺いました。

3、院内視察



### 参加者の声(事後アンケートより)

- 宮下病院の概要などを知って、将来の選択肢の一つになった。
- 実際に働いている医師の方々の話に説得力があり、刺激となった。来たことで、新たなビジョンができた。
- 意見交換で「細く長く」「医療はマラソン」といったキーワードを聞いて、地域医療・へき地医療への抵抗感が薄れたと思う。



## 5 医療従事者との意見交換

【 日 時 】 8月31日(月) 18:00~20:30

【 場 所 】 只見町 季の郷 湯ら里

【 目 的 】 地域医療に従事する医師との懇談を通じて、地域医療に対する考え方や体験談などを聞き、意見交換を行い、地域医療についての見識を深める。

【 内 容 】

○只見町国民健康保険朝日診療所の先生方と夕食を兼ねた懇談会・意見交換会を行いました。

〈 座 長 〉 福島県南会津保健福祉事務所 金成 由美子 主幹兼副所長  
(福島県南会津保健所長)



### 参加者の声(事後アンケートより)

- 若い先生方が地域で生き生きと働いているということが感じられた。また自分の子どもが小さいうちは自然豊かなこうした地域で働くのも悪くないと思えた。
- 宮下病院とは少し異なる立場から、地域医療に関する話を聞くことができた。先生方から話しかけてくださり、楽しく話をすることができた。
- 休日などについても、ざっくばらんに質問ができて良かった。

## 6 只見町国民健康保険朝日診療所 視察 等

【 日 時 】 9月1日（火） 8：30～12：00

【 場 所 】 只見町 只見町国民健康保険朝日診療所

【 目 的 】 外来診療の見学や通院患者とのコミュニケーションを通じて地域医療の現状や住民の考えについて理解を深めるとともに、コミュニケーション能力を養う。また、診療所の概況説明を通じて、へき地診療所の持つ役割や他関係機関との連携について知識を深める。

【 内 容 】

### 1、外来診療の見学・通院患者とのコミュニケーション



○学生3名で1グループとして、通院患者さんへコミュニケーションを図り、病気や普段の生活について伺いました。また、了解を得た患者さんに付いて診療の様子を見学させていただきました。

### 2、診療所の概要説明・院内視察（朝日診療所：横山事務長）



### 参加者の声（事後アンケートより）

- 実際に患者さんと話すことができ、良い経験だった。住民の方々の生活の豊かさがわかった。
- 普段の病院見学や実習などでは、どうしても医師側の立場からでしか医療現場を見ることができないので、今回の患者さんについて診療を見学するというのがとてもよかったと思う。
- 問診の様子を見学して、医師と患者さんとの距離が近いと感じた。
- 今後は自分の会話力なども向上させていきたい。



## 7 只見町保健福祉センター・只見町介護老人保健施設「こぶし苑」 概要説明・施設見学

【 日 時 】 9月1日（火） 13:00~15:10

【 場 所 】 只見町 只見町保健福祉センター  
只見町介護老人保健施設「こぶし苑」

【 目 的 】 ①只見町保健福祉センターの概要説明及び施設見学を通して、地域の保健・福祉サービスを推進する拠点としての役割について知識を深める。また、地域住民の健康を守るための他機関や多職種の連携について知る。  
②介護老人保健施設の概要説明及び施設見学を通して、施設の持つ役割と医師の関わりについて理解を深める。

【 内 容 】

1、 概 要 説 明（只見町 保健福祉課 増田副課長）

2、 質 疑 応 答



○質疑応答では地域包括支援センターや在宅介護支援センターの職員の方も交えてお話を伺い、只見町の行政・医療・介護の連携について理解を深めました。

3、 施 設 見 学



### 参 加 者 の 声（事後アンケートより）

- 行政の方の話を聞く機会は、あまりないので参考になった。
- 診療所との連携など、様々な方策によって地域の健康を守っていることを知ることができた。
- 地域包括支援センターとは何かということがよく分かっていなかったが、その役割について理解できたと思う。
- リハビリ教室の様子を見学させていただき、スタッフの方々がとても明るい笑顔で入居者の方々に接しているのを見て、いろいろな方が関わることで住民の健康を守っているのだと実感できた。

## 8 学生によるディスカッション

【日時】 9月1日(火) 17:15~19:00

【場所】 柳津町 瀬流の宿 かわち

【目的】 提示するテーマについて、参加学生間でディスカッションを行い、地域医療についての見識を深める。

【内容】

☆ テーマ 「地域における医師不足に対する処方箋」

〈座長〉：福島県立医科大学医療人育成・支援センター 大谷 晃司 先生

〈助言者〉：福島県会津保健福祉事務所 加藤 所長（福島県会津保健所長）

○学生が3班に分かれて、KJ法により問題点をまとめ、発表を行いました。



### 参加者の声(事後アンケートより)

- 同じ議題でもグループごとに違った考え方があり、それを知ることができた。
- 普段の大学生活では、このような活発な議論はしないので新鮮だった。
- 2日間の研修で学んだことをいったん振り返ることができた。
- KJ法が楽しかった。ただ、発表を通して自分たちがまだまだ表面的なことしか考えていないことが分かった。より問題を深く考え、自分なりの答えを出せるようにしていきたい。



## 9 会津中央病院 視察 等

【 日 時 】 9月2日（水） 9：30～11：00

【 場 所 】 会津若松市 一般財団法人 温知会 会津中央病院

【 目 的 】 病院の概要説明や施設見学などを通して、へき地医療を支援する病院の役割について知識を深める。

【 内 容 】

1、病院の概要説明（会津中央病院 総務課 成田上席係長より）

2、院 内 視 察



○ 救急救命センター、ドクターズカーなどを見学しました。

3、講話：「福島県・会津地域の地域医療と地域連携」

講師：会津中央病院 外科・救命科 佐竹 秀一 先生



### 参 加 者 の 声（事後アンケートより）

- 充実した設備の救急救命センターの見学では、その考えられた配置やデザインにとっても驚いた。
- 佐竹先生のお話は診療所も大病院も経験された上でのものであり、非常に興味深かった。大病院には大病院の、診療所には診療所の役割があることを理解することがまず大切だと感じた。
- へき地の病院との連携の様子を聞くことができて良かった。



## 10 課題研究のまとめ・発表

【日時】 9月2日（水） 11:00~15:00

【場所】 会津若松市 一般財団法人 温知会 会津中央病院

【目的】 地域医療体験研修に参加して感じたことや学んだこと等をまとめ、発表し学びを共有する。

【内容】

○テーマ ①今回の研修の感想 ②地域医療に必要とされる医師とは  
〈座長〉：福島県立医科大学医療人育成・支援センター 大谷 晃司 先生



### 参加者の声（事後アンケートより）

- 参加学生が研修で何を感じ学んだのか、それぞれ個性あふれる発表だった。
- 他の学生の意見も聞くことができ、また各発表ごとに先生方がコメントしてくださったので、勉強になった。
- 人によって同じ研修でも印象に残っているところが違って、共有できてよかった。
- みんなが様々な視点で、地域医療に向き合い課題解決方法を考えていた。また、医師としてだけでなく様々な立場で（患者、住民など）考えていく必要があると思った。



地域医療体験研修（夏期）報告集

---

平成27年10月9日 発行



福島県 会津保健福祉事務所  
福島県 南会津保健福祉事務所  
総務企画部 総務企画課  
電話番号 0242-29-5506  
F A X 0242-29-5509  
aidu.hokenfukushi@pref.fukushima.lg.jp